

平成24年度
福祉・介護人材に関する実態調査
〔(障害者分野) 従事者用〕

調査報告書

平成25年3月29日
広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会

調査方法

調査票の種類	平成24年度 福祉・介護人材に関する実態調査票（介護分野）従事者用
調査対象者	平成24年4月1日現在、県内の介護サービス事業従事者
調査数	事業所要調査2,297事業所に勤務する従業者各10人程度
調査方法	郵送による配布、郵送回収及びインターネットによる回答
調査時期	平成24年10月3日～10月18日
調査票回収数	1,154人

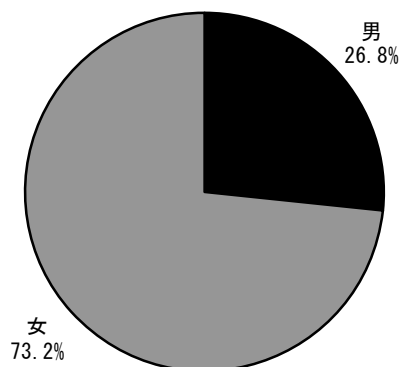
調査集計にあたっての留意事項

- 回答結果は小数点第2桁目を四捨五入している。この関係で、単回答（複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式）の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計しても「100.0」とはなりません。
- 各問に対し、回答が無かったもの、また、回答の判別が困難なものについては、該当サンプルから除外して集計しています。
- 本報告書における「N」「SA」「MA」「NA」は、それぞれ
 - 「N」 = サンプル数のこと
 - 「SA」 = 単回答のこと（Single Answer の略）
 - 「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answer の略）
 - 「数量」 = 数量回答のことを示します。

問1 あなたの性別を選んでください。(SA)

「女」が73.2%となっています。

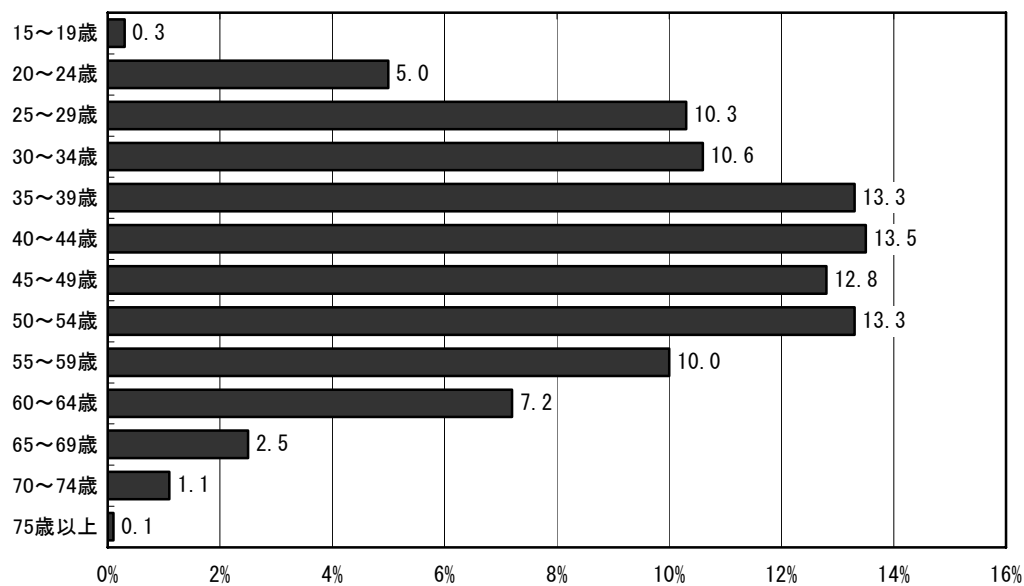
従事者調査(障害者分野)(SA) N=1,151



年齢 あなたの年齢を記入してください。(数量)

「40～44歳」が13.5%で最も高くなっています。次いで「35～39歳」、「50～54歳」が13.3%で続いています。

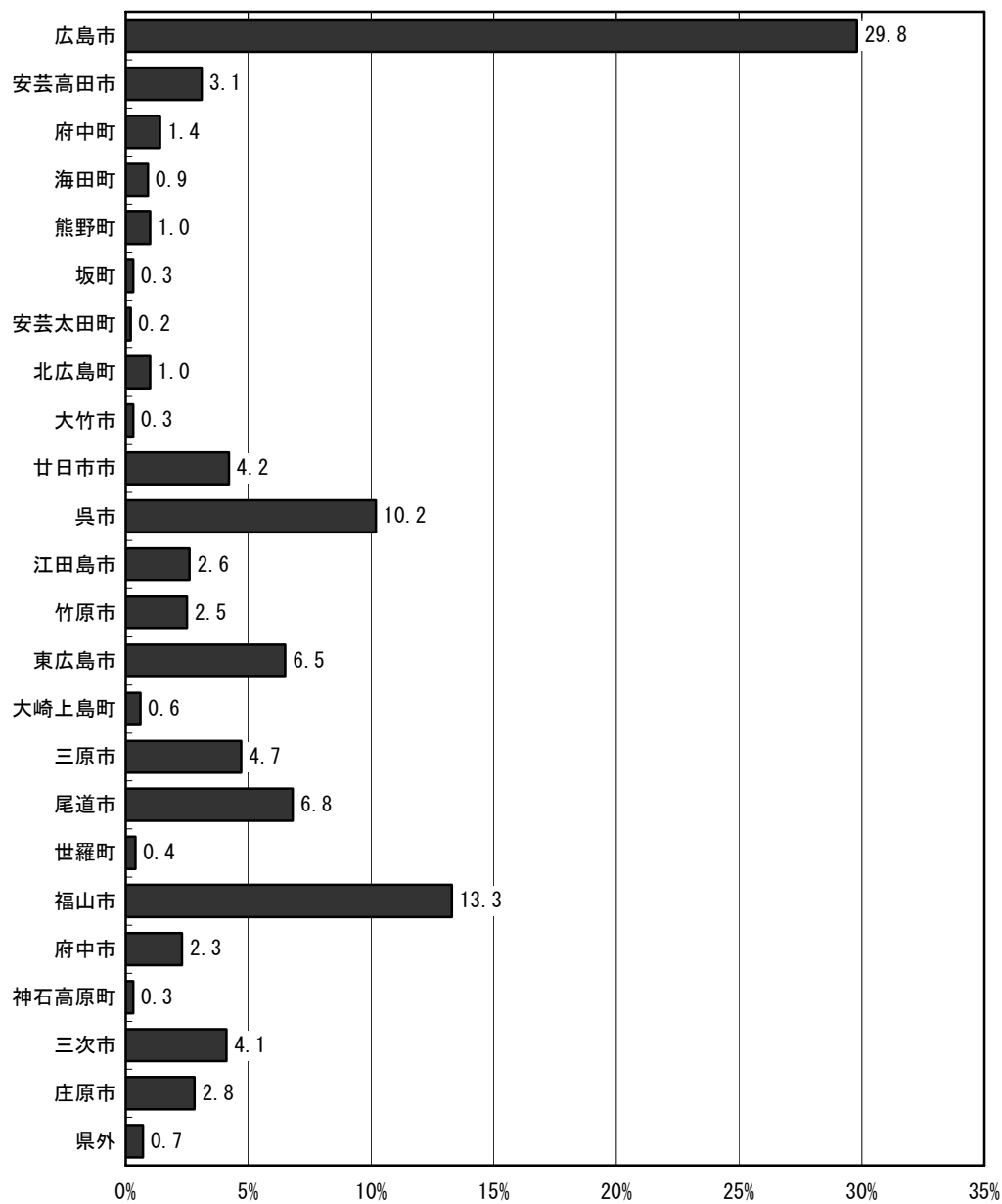
従事者調査(障害者分野)(数量) N=1,154



問3 あなたのお住まいの市町を選んでください。(SA)

「広島市」が29.8%で突出しています。「福山市」が13.3%、「呉市」が10.2%が続いています。

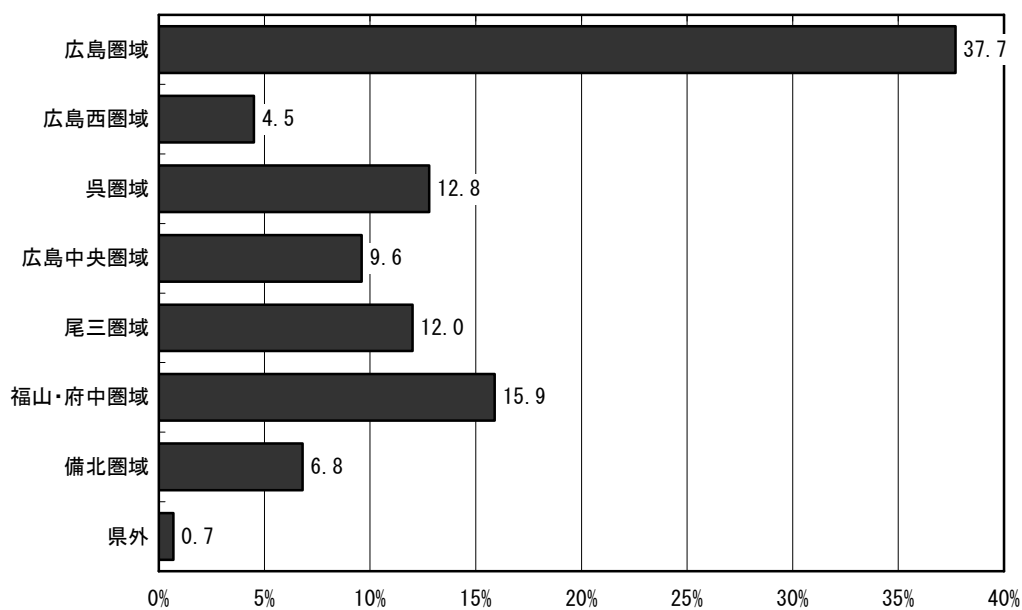
従事者調査（障害者分野）（SA） N=1,154



二次医療圏域の項目 (SA)

「広島圏域」が37.7%で突出しています。「福山・府中圏域」が15.9%、「呉圏域」が12.8%が続いています。

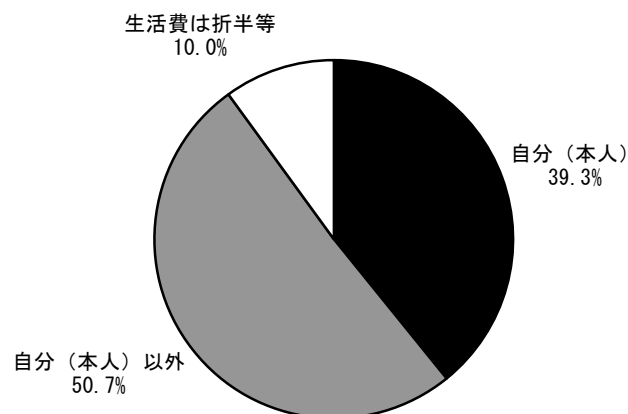
従事者調査（障害者分野）(SA) N=1,154



問4 あなたの世帯で最も多く生活費を負担している人を選んでください。(SA)

「自分(本人)以外」が50.7%を占めています。

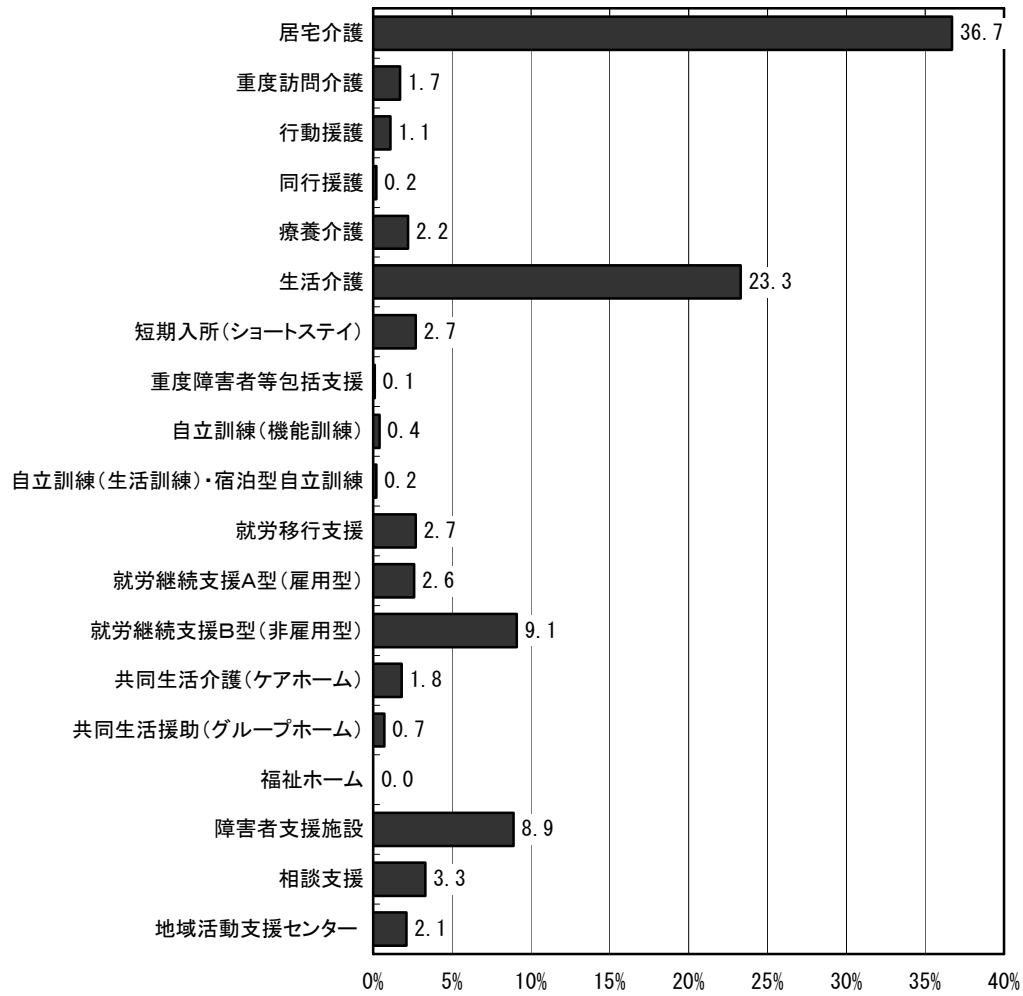
従事者調査（障害者分野）(SA) N=1,139



問5 あなたが今働いている事業所のサービス種類について該当するものすべて選択してください。(SA)

「居宅介護」が36.7%で最も高くなっています。次いで「生活介護」が23.3%が続いています。

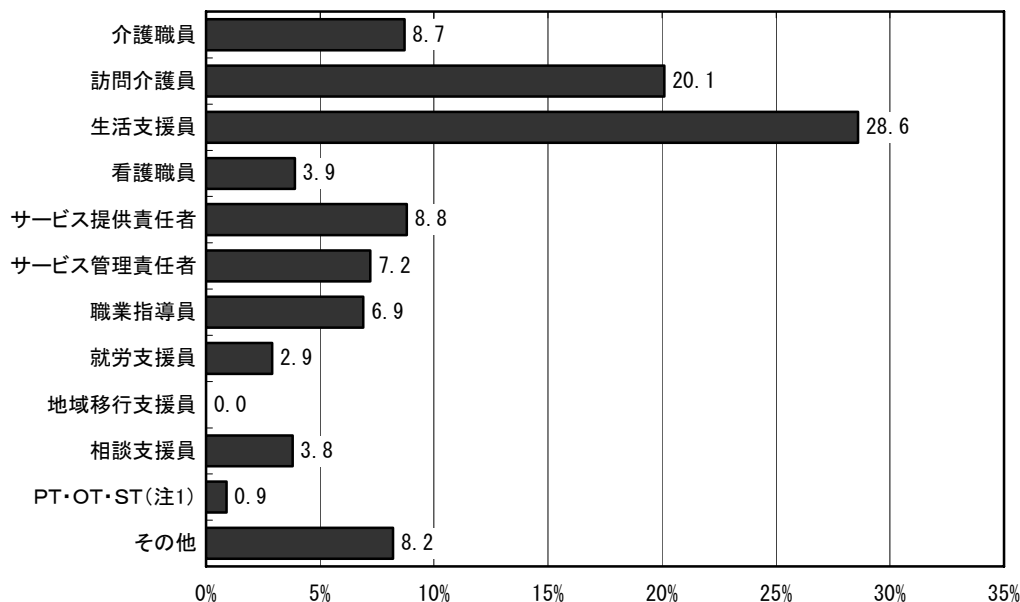
従事者調査(障害者分野)(SA) N=989



問6 今働いている事業所でのあなたの主な職種を選んでください。(SA)

「生活支援員」が28.6%で最も高くなっています。次いで「訪問介護員」が20.1%が続いています。

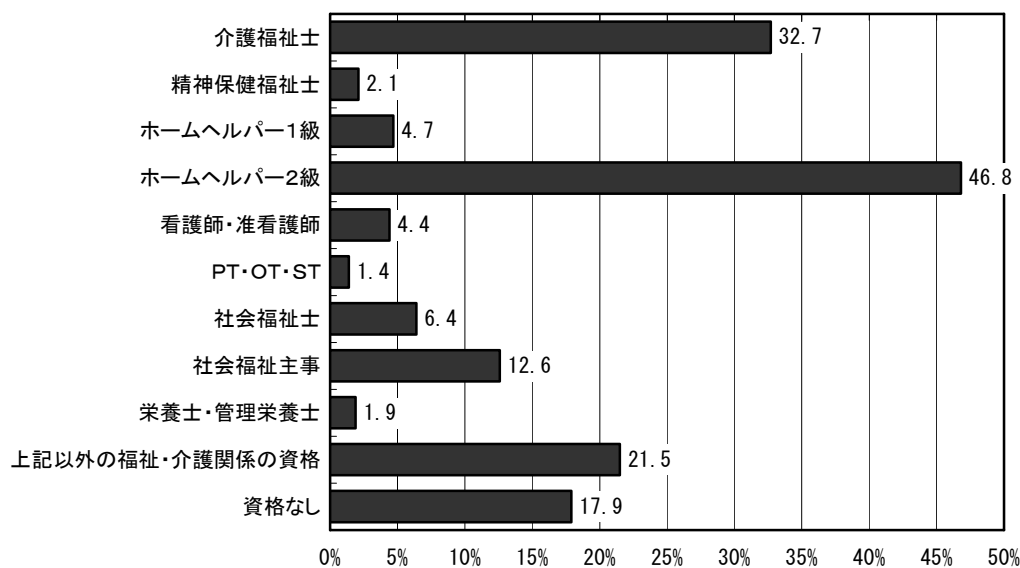
従事者調査（障害者分野）(SA) N=1,140



問7 あなたがすでに取得している資格を選んでください。(MA)

「ホームヘルパー2級」が46.8%で最も高くなっています。次いで「介護福祉士」が32.7%が続いています。

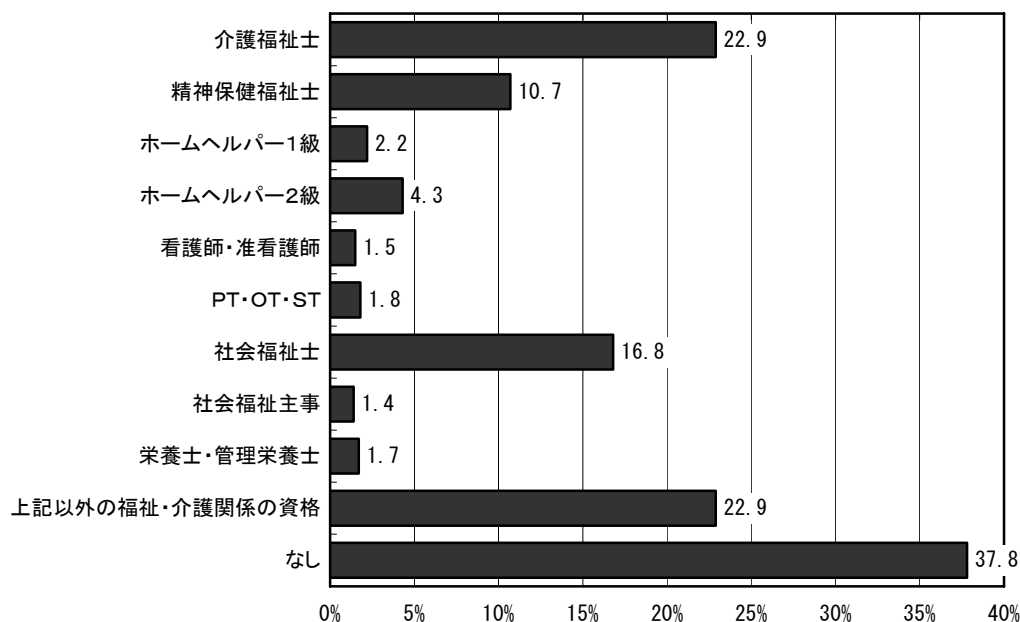
従事者調査（障害者分野）(MA) N=1,142



問8 あなたが将来取得したいと考えている資格を選んでください。(MA)

「介護福祉士」、「上記以外の福祉・介護関係の資格」が22.9%で最も高く、続いて「社会福祉士」が16.8%となっています。

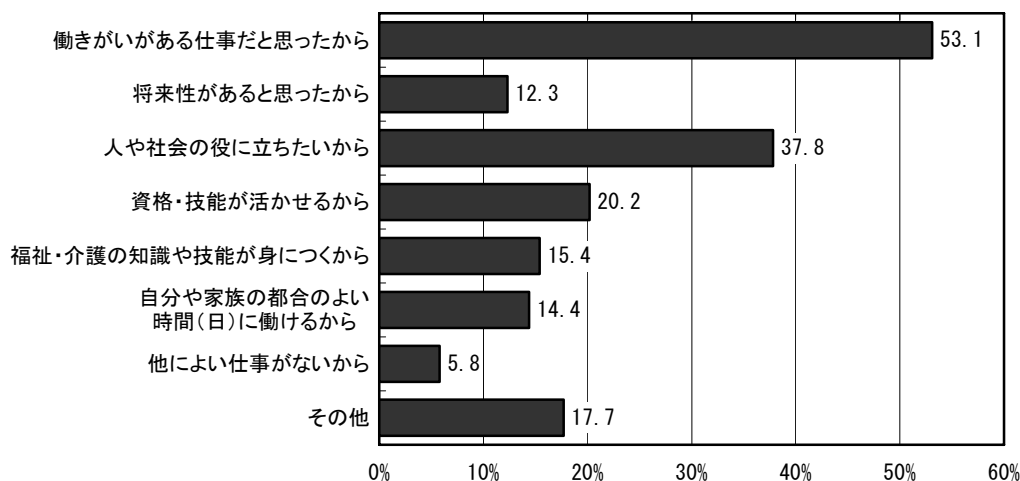
従事者調査（障害者分野）(MA) N=1,061



問9 福祉・介護の仕事に進んだ理由を選んでください。(MA)

「働きがいがある仕事だと思ったから」が53.1%で最も高くなっています。次いで「人や社会の役に立ちたいから」が37.8%で続いています。

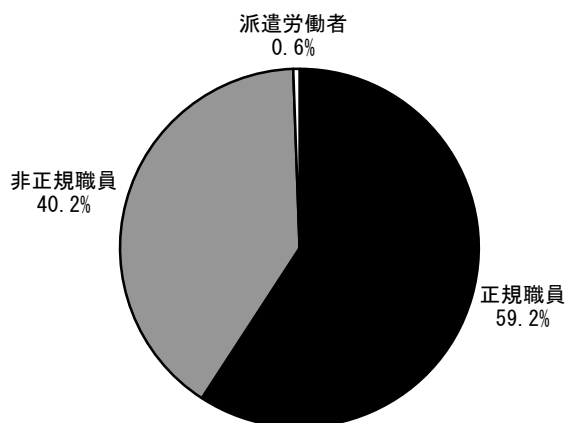
従事者調査（障害者分野）(MA) N=1,142



問10 あなたの現在の就業形態を選んでください。(SA)

「正規職員」が59.2%を占めています。

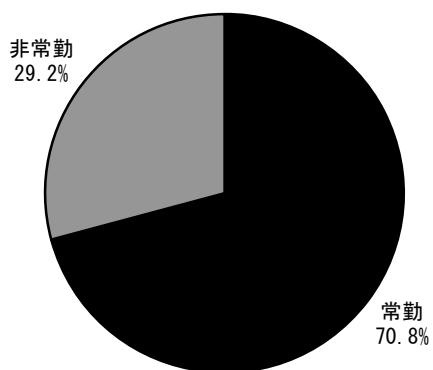
従事者調査(障害者分野)(SA) N=1,146



問11 あなたの現在の勤務形態を選んでください。(SA)

「常勤」が70.8%を占めています。

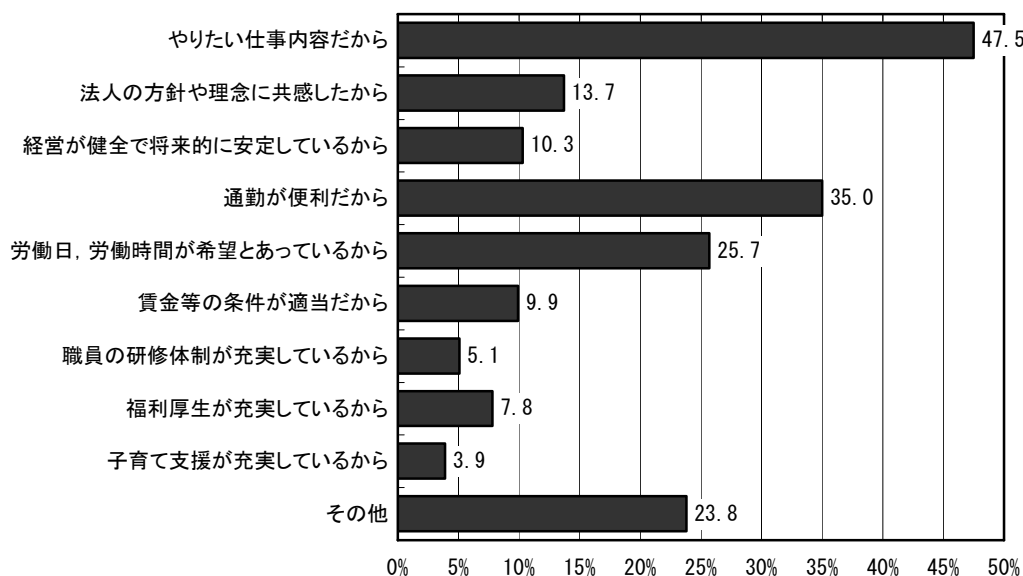
従事者調査(障害者分野)(SA) N=1,132



問12 現在の事業所に就職した理由を選んでください。(MA)

「やりたい仕事内容だから」が47.5%で最も高くなっています。次いで「通勤が便利だから」が35.0%、「労働日、労働時間が希望とあっているから」が25.7%が続いています。

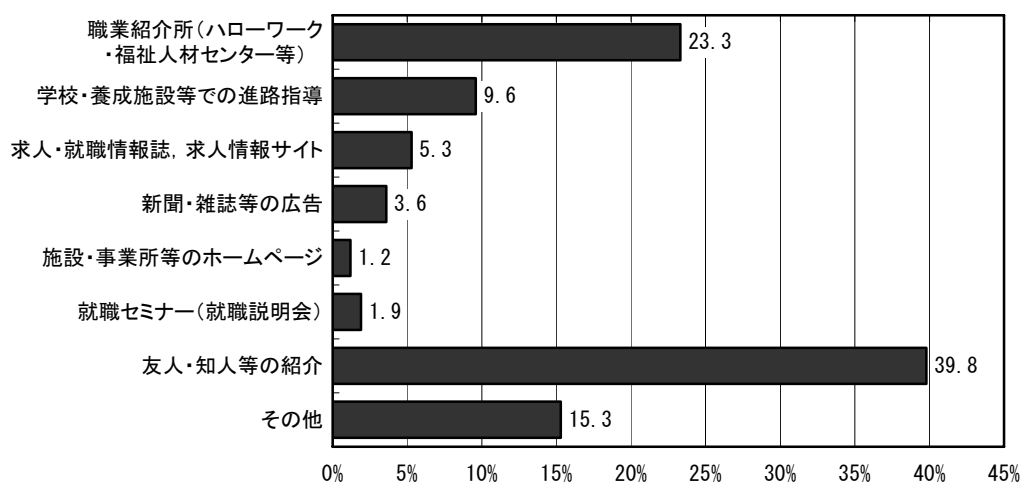
従事者調査（障害者分野）(MA) N=1,147



問13 現在の事業所に就職したきっかけを選んでください。(SA)

「友人・知人等の紹介」が39.8%で突出しています。「職業紹介所(ハローワーク・福祉人材センター等)」が23.3%、「学校・養成施設等での進路指導」が9.6%が続いています。

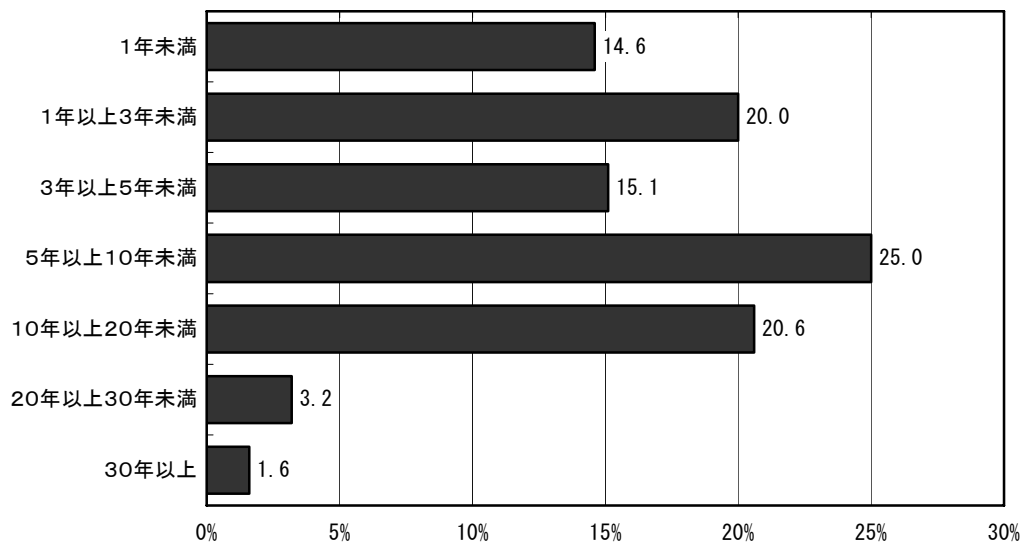
従事者調査（障害者分野）(SA) N=1,141



問14 あなたが今働いている事業所での勤務年数を選んでください。(SA)

「5年以上10年未満」が25.0%で最も高くなっています。次いで「10年以上20年未満」が20.6%、「1年以上3年未満」が20.0%が続いています。

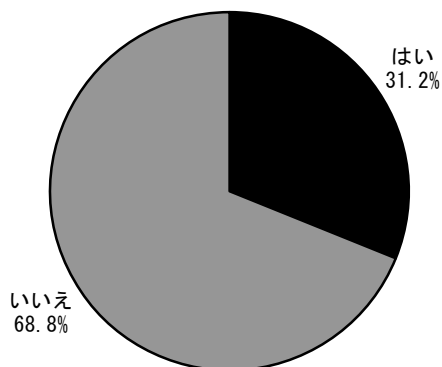
従事者調査（障害者分野）(SA) N=1,147



問15 今の職場以前に、福祉・介護サービスの職場に勤務していましたか。(SA)

「はい」は31.2%となっています。

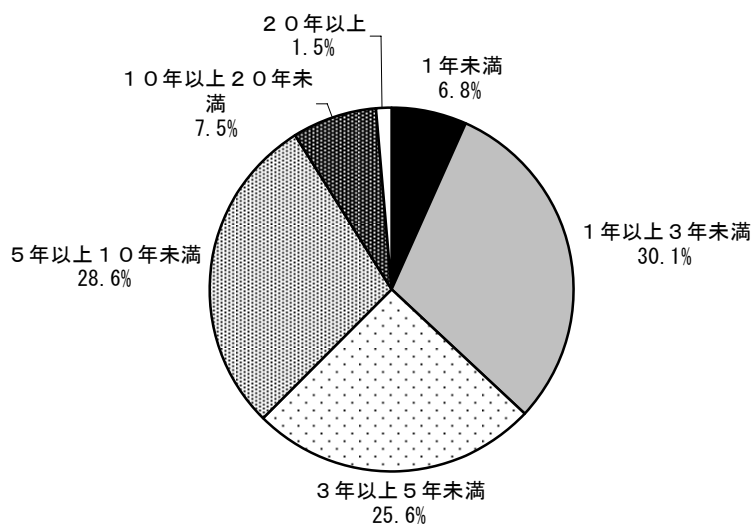
従事者調査（障害者分野）(SA) N=1,147



問16 問15で「はい」とされた方は、そこでの勤続年数を選んでください。（SA）

「1年以上3年未満」が30.1%で最も高くなっています。次いで「5年以上10年未満」が28.6%、「3年以上5年未満」が25.6%が続いています。

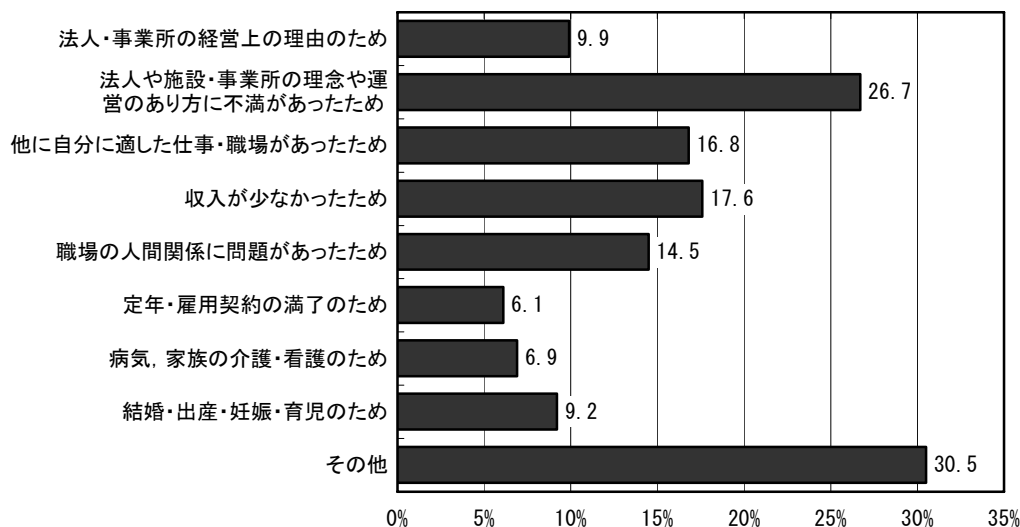
従事者調査（障害者分野）（SA） N=133



問17 問15で「はい」とされた方は、そこを辞めた理由を選んでください。（MA）

「法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったため」が26.7%、「収入が少なかったため」が17.6%となっています。

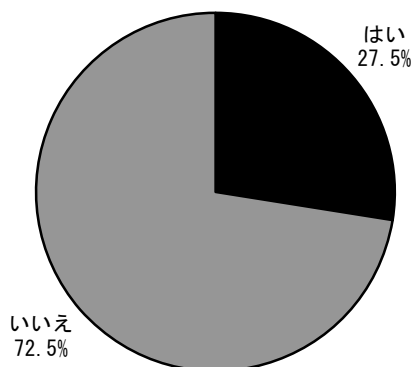
従事者調査（障害者分野）（MA） N=131



問18 あなたの職場では、夜勤（宿直）夜10時～朝5時がありますか。（SA）

「はい」は27.5%となっています。

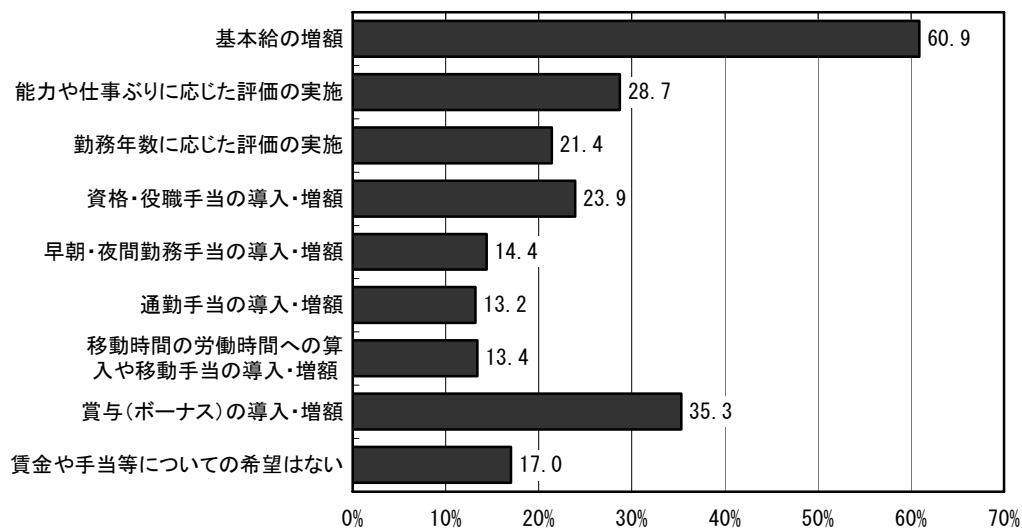
従事者調査（障害者分野）（SA） N=1,098



問19 賃金や手当等についての希望があれば選択してください。（MA）

「基本給の増額」が60.9%で群を抜いています。

従事者調査（障害者分野）（MA） N=1,115

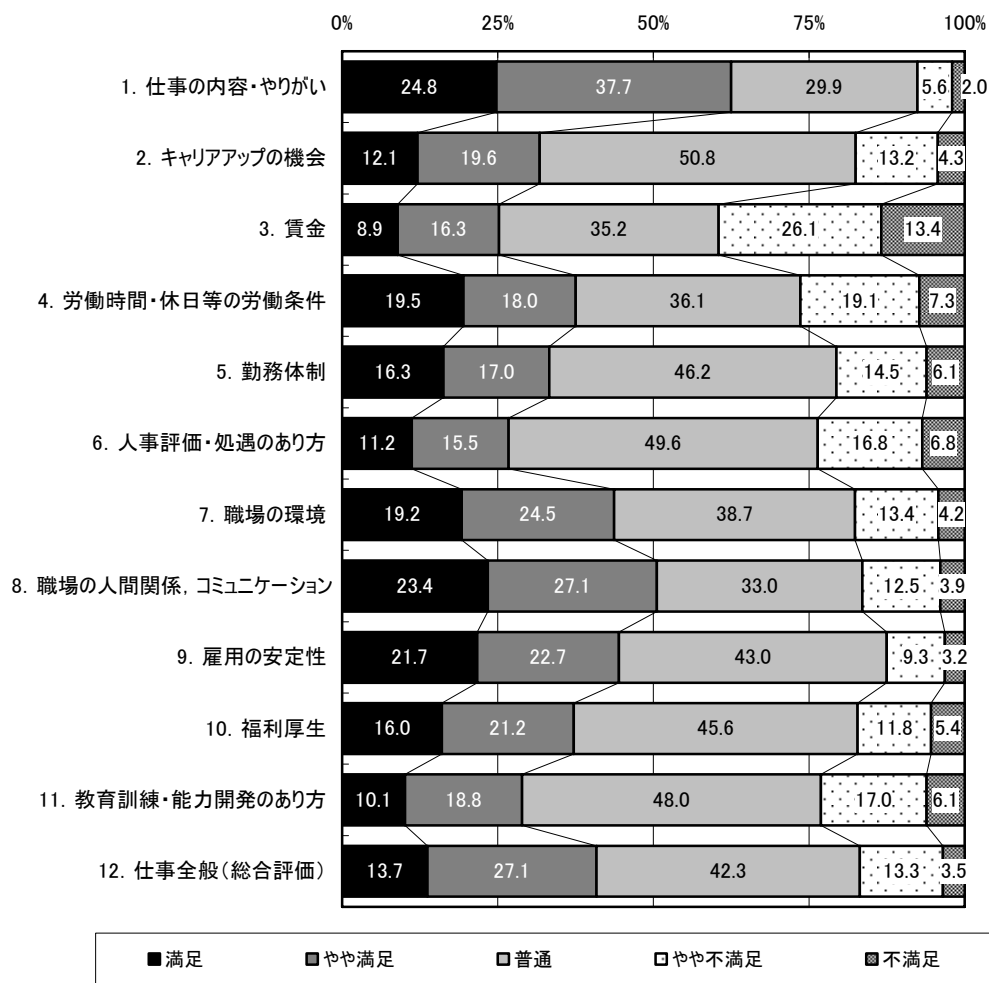


問20 職場の満足度について (SA)

「満足」、「やや満足」が最も高いのは「1. 仕事の内容・やりがい」、次いで「8. 職場の人間関係、コミュニケーション」で、ともに50%を超えています。

「やや不満足」、「不満足」が比較的高いのは「3. 賃金」となっています。

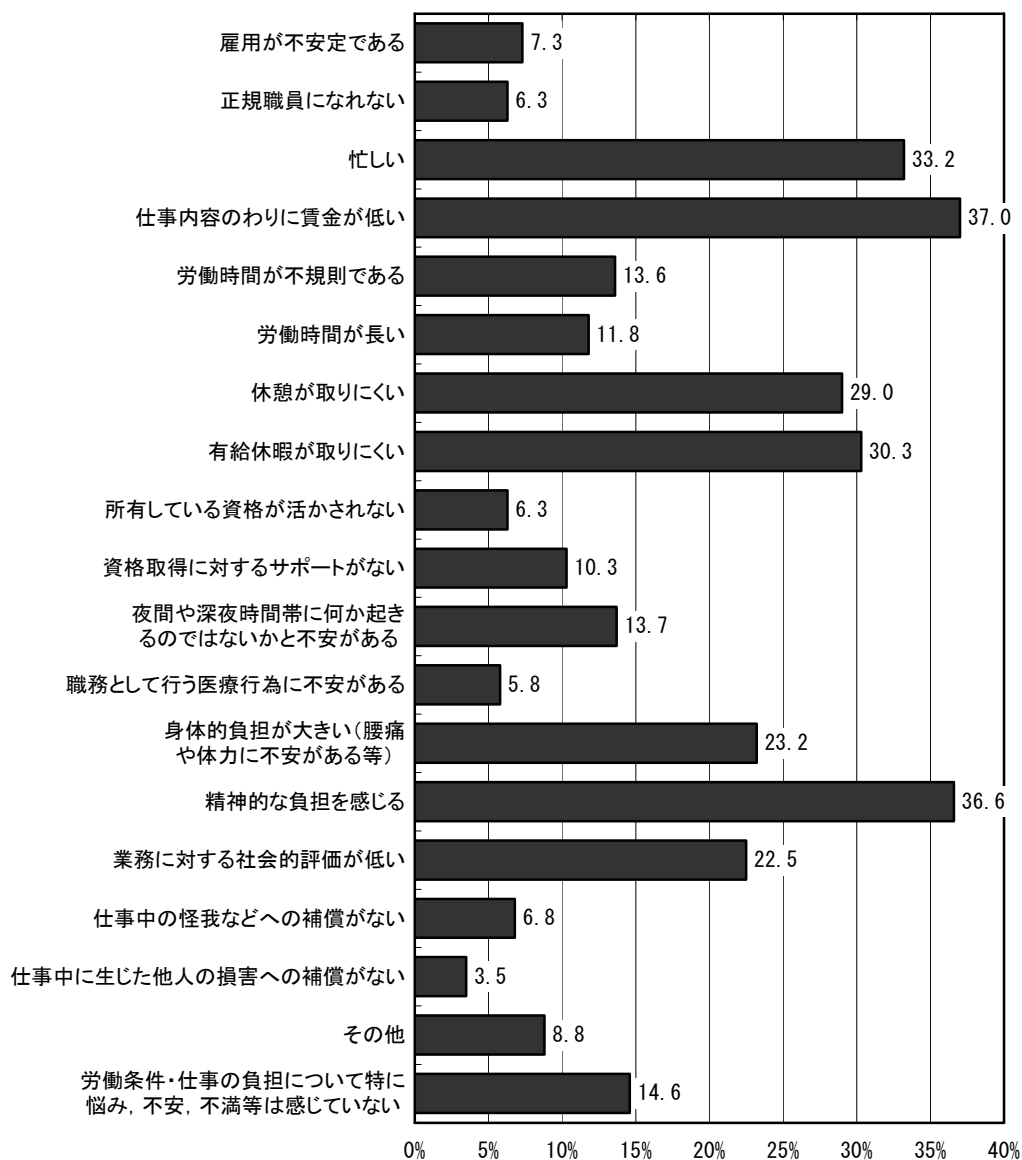
(SA) 従事者調査(障害者分野)



問21 現在、あなたが働く上での悩み、不安、不満等がありますか。(MA)

「仕事内容のわりに賃金が低い」が37.0%、「精神的な負担を感じる」が36.6%で拮抗しています。

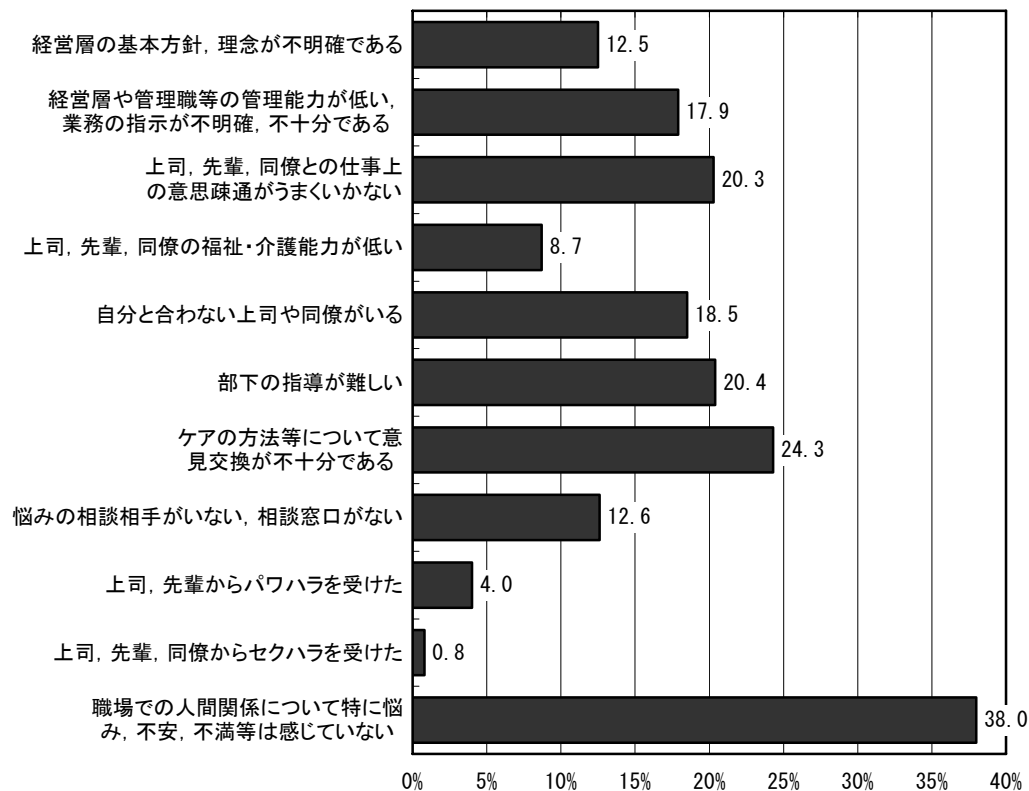
従事者調査（障害者分野）（MA） N=1,119



問22 職場での人間関係等について悩み、不安、不満等がありますか。(MA)

「ケアの方法等について意見交換が不十分である」が24.3%、「部下の指導が難しい」が20.4%、「上司、先輩、同僚との仕事上の意思疎通がうまくいかない」が20.3%で20%を超えています。

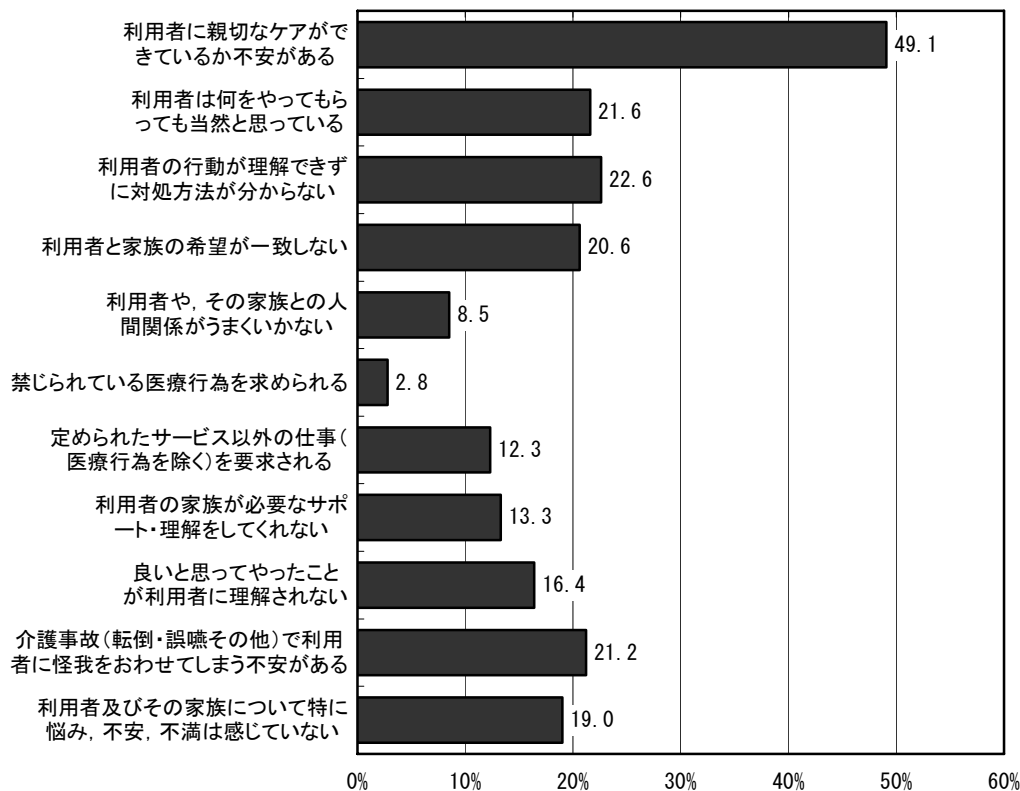
従事者調査（障害者分野）(MA) N=1,032



問23 利用者の方等について、悩み、不安、不満等がありますか。(MA)

「利用者に親切なケアができていないか不安がある」が49.1%で最も高くなっています。次いで「利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない」が22.6%などとなっています。

従事者調査（障害者分野）(MA) N=1,085



問24 職場での取組み (MA)

「役に立つと思う」が「取組みがある」を超えているものは、「1. キャリアアップのしくみの整備」、「2. 働き方や仕事内容, キャリアについて上司と相談する機会の設定」、「5. 福祉・介護能力を適切に評価するしくみ」、「6. 福祉・介護能力に見合った仕事への配置」、「11. 介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入」となっています。

(MA) 従事者調査 (障害者分野)

